



やっていいことわるいこと やらなければいけないこと

これからみんなで朝のあいさつをしましょう。(6年生代表)はあい。(低学年の子たち)おはようございます。(おはようございます)

元気に挨拶できました。

いま、みなさんは運動会に向けて、みんなが一生懸命、そして、人のことを思いやり、大切にしながら力を合わせ、心を一つに、練習に汗を流していますね。だから先週、「だいじょうぶ」という話をして、桃五の子が人を大切に、自分も人も大切にする素敵な子たち、という話をしました。

そして、もうすぐ運動会。だから、今日も同じように思いやりのある皆さんの素敵な様子を「チームワークいいぞ」というお話で、紹介しようと、つい2、3日前まで思っていました。ところが、みなさんのよいところと同時に、やってはいけないことをしているということも聞こえてきたのです。ですから、お話を今急に変えることにしました。

「やっていいことわるいことやってはいけないこと」という話を、今日はします。

いつもお話ししているように、みんなが「元気に・なかよく・楽しく」すごすためには、どうしたらいいのでしょうか。一人で勝手にやっているのと違って、たくさんの人と一緒に暮らしていくには、「やっていいこと、やってはいけないこと、やらなければいけないこと」をちゃんと見きわめて、自分で考えていくことが大切です。そしてこれだけは守ろうね、といったのが「あぶないことはしない。」「人のいやがることはしない。」「ルールはまもる。」の3つでした。

ところがね、最近ご近所の方やお父さんお母さん、いろいろな人から、「あぶないことしてる」「人のめいわくも考えない」「約束やルールはやぶってる」という声がいくつも聞こえてきます。ご近所の方がそのことで困ってご相談に来ることもあります。どうしちゃったんでしょう。『目と、耳と、心』で見て、聞いて、考えて、自分のことも、人の子共大切にできる「桃五の子」だったのではありませんか。

学校の行き帰りに石をけてよその人にぶつけてしまったり、よその家の庭や駐車場に入っていたずらしたり、ピンポンダッシュしたり、……。数えきれません。

皆さんはいいところもたくさんあります。でもなおさなければいけないところもたくさんあります。

いいところはますますがんばって増やして、よくないところがあれば直せばいいのです。でもそのことに気づかないととんでもない悪い子になってしまいます。

そのことに気づいて、お互いに注意しあいながら、自分も人も大切にできる桃五の子になってほしいと思います。

がんばれますか。(はあい)一人一人がしっかりね。よろしくお願いします。(はい。)

